



燦々と燃ゆる陽



本別高校HP QRコード

【1年生 本別町の魅力を発信する動画・ポスター作成に係る全体・ポスター発表会】

10月5日(水)3・4時間目、本校体育館で、1年生の総合的な探究の時間「とち創生学」の全体・ポスター発表会を開催しました。佐々木町長をはじめ、町内小中学校の校長先生や保護者など約20名方々に参観していただきました。5月からおよそ半年間かけて、取り組んだ探究活動の発表会です。本別の地域を理解するために5つの領域で5名の講師の方々から講義を受けたり、取材活動を進めるなど活動を行ってきました。

生徒の進行により全体会の発表会が進行され、「本別の魅力」「取り上げた理由」「作成コンセプト」、「絵コンテ」をプレゼンし、作成動画を披露しました。その後、各班に分かれ、体育館の壁に掲示したポスターの説明後、参観者からの質疑応答など意見交換が行われました。

なお、各班の発表テーマは以下のとおりです。

1班 本別町の魅力の一つ 本別町の祭り

2班 本別町の街並み【ビフォーアフター】の魅力発信

3班 本別町 政治の魅力発信

4班 本別のグルメの魅力発信 ~豆以外もあるぞ~

5班 普通はありえない!? 本別の不思議な自然 ~自然環境編~ ※詳細は後日の学校通信で紹介



【2年生 探究活動「とち創生学」の進捗状況】… 成果発表会までのカウントダウン:あと 39日

探究活動「とち創生学」も終盤、進捗状況についてインタビューしました。 **令和4年11月15日 2年生「とち創生学」成果発表会開催予定**

3班メンバーは、上写真の左から、橋本・木南・山川・守田さんです。本別高校の入学者が少ないのは本別高校の活気が足りないのではとの課題から、本別高校に興味を持ってもらい、本別高校の入学者を増やそうとする取り組みです。解決策として、学校行事をより楽しめるものとすることや、体育大会の種目を変えたりするなど本別高校の魅力アップさせる取り組みです。現状分析として、どのような行事がよいかを中学生や高校生にアンケート調査するなどして、楽しめる学校行事とは何かを検討していくこととしています。



5班メンバーは、下写真の左から、渡部・伊藤・瀧澤・本寺さんです。人口維持プロジェクトと題して、本別に関する情報サイト「Hotほんべつ」の閲覧数を増やすことで、「Hotほんべつ」内の求人サイトを見てもらおうとして、本別の人口維持を図るものです。解決策の具体として、本別高校創立80周年式典のために作られた本別高校賛歌「ここで永遠に」を掲載し、作曲した河西先生にインタビューするなど作曲秘話など掲載することで閲覧数を増やそうと考えています。



9.26 生徒役員選挙が行われました。新しい生徒会長と副会長が決まりました。

9月26日生徒会執行部の生徒会長と副会長の立ち会い演説会が行われました。生徒会長1名、副会長2名の立候補者があり、選挙管理委員への届け出があまりました。信任投票となりますが、現執行部の生徒会長と副会長のそれぞれが推薦人となり推薦理由が述べられました。続いて、生徒会長候補2年矢吹さん、副会長候補、2年山本さん、佐藤さんの各候補者が考える公約が述べられました。その後、教室にもどり、信任投票が行われ、開票の結果、それぞれの候補が信任されました。

校長から校長室で新生徒会長の矢吹さん、副会長の山本さんの生徒会役員の認定証を手渡しました。矢吹生徒会長（写真右）は2つの公約があり、一つ目は、全校生徒が継続して楽しめるイベントの開催、二つ目は、校則の見直しについてです。また、山本副会長（写真左）は、学校祭など多くの改善を前生徒会が行っており、先輩方が築きあげたよいよい活動を継続し、全校生徒が楽しめる学校行事を行っていききたいとの話をしてくれました。さらに、佐藤副会長（写真下）は、生徒の声を反映するための目安箱の設置についてを話してくれました。新しい生徒会長と副会長の活躍に期待してください。



R4 公開授業週間 … 10月11日（火）～14日（金）

毎年、10月、公開授業週間を設定しています。是非、授業を参観ください。今年度から、北海道遠隔授業配信センター（T-base）からのオンライン配信による授業（1年生数学・英語）も開始。詳細（時間割と時間帯）は本校ホームページ、または、次のQRコードでご確認ください。



令和4年度前期終了式 校長講話 9月29日（木） … バタフライエフェクト

年度当初の始業式で2つの事を皆さんに話しました。覚えているでしょうか。一つ目は、校舎玄関前の縦幕に掲げられたメッセージをもとに、何か目標を定め、挑戦（チャレンジ）をして欲しいという話。二つ目は、相手を尊重し思いやる心を持ち、多様な個性をお互いに受け止め、良好な人間関係を築くことについて話をしました。前期を振り返り、後期に向けて、改めて、取り組んで欲しいと思います。

さて、今日は、バタフライ効果（バタフライエフェクト）という話をします。皆さんは他人が困ったとき（助けを求めているとき）、または、何か行わなければならないとき、どうしますか？「自分に何かできることはないだろうか」と考えるが、「自分一人ですることなんてたかが知れている。何も変わらない。」と考えがち、何も活動を起こさなくて、やり過ぎて日常生活を送ってしまっていないか。

エドワード・ローレンツという気象学者の言葉、「ブラジルの蝶の羽ばたきがテキサスでトルネード（竜巻）巻き起こす。（蝶の羽ばたきが、そこから離れた場所の将来の天候に影響を及ぼすとのこと。）」がある。一人の力は微力で、決して大きくはないが、力を足し合わせたり、掛け合わせれば、大きな力になる得るということの例え。最初の小さな一歩（取組）が、活動や変化のきっかけとなり、最終的（結果的）に非常に大きな変化をもたらす可能性を秘めている。皆さんは、多くの仲間、先生、地域の方々との関わりの中で生活しています。学習、学校行事、部活動、探究活動、進路活動、悩み相談などあらゆる場面や活動において、仲間、先生、地域の方々と活かして（関わって）はどうでしょうか。多くの人達と議論したり、協働的に活動や実践をしてみたい。

「小さな一歩が、みんなの未来、については、地域の未来を、大きく変える！」